

読んで！

Sa^{city}
do

議会だより

市民と議会をつなぐ

N°89

佐渡のブランド牛

令和8年7月2日に高千家畜市場が開催されました。



Council News

佐渡市議会 令和8年6月定例会

CONTENTS

常任委員会はココに注目！……………2～4

議案等の審議結果一覧……………5

令和8年6月定例会

一般質問(11人)……………6～12

市民厚生常任委員会病院視察……………12

令和7年度政務活動費……………13

会派紹介……………14～15

意見交換会……………16～17

越佐まぐろ祭り参加報告

入間市との姉妹都市議会交流会…19



常任委員会は

ココに

注目

条例案6件、予算案6件、その他の議案31件を可決



総務文教
常任委員会

ほおずき荘を民間へ、 本当に大丈夫か？

母子生活支援施設「ほおずき荘」は、困難を抱える母子の生活支援と自立支援を行う施設として市直営で運営されてきた。しかし近年、専門資格を持つ職員を安定的に確保することが難しくなっており、支援の専門性と継続性を確保するため、施設運営を社会福祉法人などの指定管理に委ねることができる条例改正が提案された。

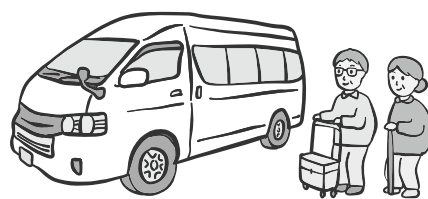


安易な指定管理化はすべきでない

委員会では、長年蓄積された支援の一体性やノウハウに関する課題や、入所者の安全や信頼関係が維持されるかなど、制度導入の妥当性をめぐり慎重な意見が相次いだ。深刻な事情を抱える母子を受け入れる施設であることから、継続的で質の高い支援体制が不可欠であるとの指摘が多く、安易な指定管理化はすべきではないとの意見も挙げられたが全会一致で可決された。

公共交通の課題が一步前進!! 市営バスが切り札になれるか!?

人口減少と高齢化が進む中、市は島内の公共交通を持続可能な形に再編するため、市営バスへの段階的移行を進める方針を示した。

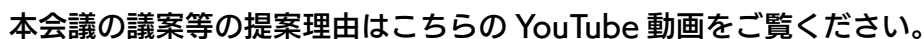


拠点間は既存路線バスで結び、周辺部はコミュニティバスや循環バス、ライドシェアなどを組み合わせ、地域の実情に応じた移動手段を確保する。

地域の声を踏まえた交通体系を



委員会では、地域の生活に即したルート設定や、観光需要との両立、高齢者が自宅からバス停まで移動しづらい地域への対応など、運行の実効性に関する議論が中心となった。また、スクールバスとの混乗やデマンド型移動支援の活用など、既存資源を生かした柔軟な運行の可能性も議論された。市は、地域の声を踏まえながら、持続可能な交通体系の構築を進める姿勢を示した。



市民厚生常任委員会では、「佐渡市水道事業給水条例の一部改正」について審査した。この議案は、水道メーターの検針を現在の「毎月」から「隔月（2 か月に 1 回）」へ変更するもの。検針業務の効率化や経費削減を目的としており、料金は 2 か月分の使用量を確認したうえで毎月分に按分して請求されるため、毎月の支払い方法はこれまでと変わらない。

委員会では、市民生活への影響を中心に活発な質疑が行われた。委員からは、「検針間隔が長くなることで漏水の発見が遅れるのではないか」「急に使用水量が増えた場合の対応はどうするのか」「漏水減免制度への影響はないのか」「市民への周知は十分に行われるのか」といった質問があった。

これに対し執行部からは、使用水量に大きな変化があった場合は個別に確認を行うほか、漏水が疑われる場合には速やかに利用者へ連絡する体制を継続すること、漏水減免制度はこれまでどおり運用すること、また制度開始前には広報紙やホームページなどを通じて丁寧に周知するとの説明があった。

検針業務の委託費は年間約 3,100 万円から約 1,900 万円へ削減や、将来的なスマートメーター（通信機能を備えた自動検針が可能な水道メーター）導入については、費用対効果を見極めながら検討を進める考えも示された。

委員会では、経費削減の効果を認めつつも、市民サービスが低下することのないよう、漏水への迅速な対応や市民への丁寧な周知を継続することを求めた。

上下水道使用についてのお願い

1. 水道または上下水道の使用を中止するため、名義変更等をする場合は、必ず市役所又は支所へ届け出ておくこと。

2. メーターボックスの中にはいつもきれいにし、指針がよみ見えるようにし、上物を置いたり、たわみをのこさないでください。

3. 検針の妨げにならないよう、又は必ずづなつておくてください。

4. 積雪などで検針できない場合は、過去の使用量を参考に推定し、検針可能な月で精算させていただきます。

5. 上下水道についてのお問い合わせは、このお知らせのお客番号をお知らせください。

★水道の検算方法
 表の枠を全部閉めて、水道メーターを確認します。
 水道メーターの1リットル指針がパイロットが動いていれば水道と判断できます。この場合、水道工事店に修理依頼してください。

佐渡市役所

上下水道課(佐和田、金井、新橋、畑野、高野地区)	
下水道普及及び下水道使用費受付け	0259-67-7380
水道料金徴収	
水道料金照会	0259-67-7557
同業支所 上下水道係	0259-27-2118
相川支所 上下水道係 (相川地区)	0259-74-3031
羽茂支所 上下水道係 (小糸、羽茂、新田地区)	0259-68-3111





両津夷商店街アーケードのLED化と安全対策

夷本町商店街のアーケード照明の老朽化と安全対策が課題となる中、新潟県の補助要件緩和に伴い、市独自の「商店街環境整備事業補助金」を新設し商店街の事業協同組合が行うLED更新工事を支援する議案を審議した。

委員会では、組合員の減少に伴う将来的な維持管理や、アーケード撤去費用の補助対象外に関する懸念が指摘された。執行部は、年間約50%の電気料削減効果をシミュレーションで示し、今後の出店意欲喚起など持続可能な商店街運営に向けた前向きな意思を確認した上で進めると答弁。市民が安心して通行できる空間再生への一歩として、適切な進捗管理を要望した。

国費100%を活用した若い移住者の獲得

首都圏一極集中の再加速に対し、(一財)地域活性化センターの助成金を活用した「移住定住交流推進事業補助金」を審議した。就業体験を含む2泊3日の現地体験プログラムへの支援(200万円)を行うもの。

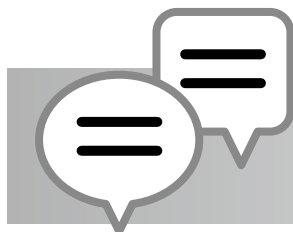
委員会では、観光目的の参加を排除する選定方法や、民間事業者委託による費用対効果について質疑が交わされた。執行部はオンライン面談等で移住への熱意をヒアリングし、5名の移住相談への定着を目標に掲げた。市の一般財源負担がない利点を活かし、確実な成果の創出と、来年度以降に向けた効果の検証を要請した。

【現地視察】佐渡博物館の空調配管漏水被害

委員会では、5月30日に発生した空調配管からの漏水により臨時休館中の「佐渡博物館」を現地視察した。1階および2階の天井板剥落等の被害状況を確認。幸い展示資料への影響はなかったが、市民や観光客に寄り添い、天井材落下の危険性排除を最優先とした早期の修繕工事の実施、および休館中における代替展示の場所・手法の速やかな検討と周知を強く求めた。



佐渡博物館現地視察



議案等の審議結果一覧

◎ 全会一致で可決 ○ 賛成多数で可決 × 否決 △ 継続審査

◆令和8年 第4回(6月)定例会

番号	審議結果	件名
第53号	◎	佐渡市行政手続条例の一部を改正する条例の制定
第54号	◎	佐渡市市営バスの運行及び管理に関する条例の制定
第55号	◎	佐渡市税条例の一部を改正する条例の制定
第56号	◎	佐渡市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定
第57号	◎	佐渡市母子生活支援施設条例の一部を改正する条例の制定
第58号	◎	佐渡市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
第59号	◎	災害等廃棄物処理事業(加茂歌代地内)解体工事請負契約の締結
第60号	◎	財産の取得(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型))
第61号	◎	財産の取得(高規格救急自動車)
第62号	◎	令和8年度佐渡市一般会計補正予算(第1号)
第63号	◎	令和8年度佐渡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
第64号	◎	令和8年度佐渡市介護保険特別会計補正予算(第1号)
第65号	◎	令和8年度佐渡市水道事業会計補正予算(第1号)
第66号	◎	財産の取得(小・中学校校務用ノートパソコン)
第67号	◎	令和8年度佐渡市一般会計補正予算(第2号)
第68号	◎	令和8年度佐渡市水道事業会計補正予算(第2号)
第69号	◎	人権擁護委員候補者の推薦
第70号	◎	人権擁護委員候補者の推薦
第71号	◎	人権擁護委員候補者の推薦
第72号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命

議案

番号	審議結果	件名
第73号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第74号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第75号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第76号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第77号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第78号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第79号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第80号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第81号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第82号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第83号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第84号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第85号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第86号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第87号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第88号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第89号	◎	佐渡市農業委員会委員の任命
第90号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第91号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第92号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第93号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第94号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第95号	○	佐渡市農業委員会委員の任命
第4号	審議未了	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情
第5号	×	mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業中止の意見書提出を求める陳情
第2号	◎	決算審査特別委員会の設置

議案

陳情

発議案



賛否等の内訳

上表の賛否の分かれた議案(網掛け部)について、議員別に賛否等を公表します。

議案等の番号	議決結果	賛否の別		政風会				新生クラブ				リベラル佐渡				日本共産党市議団		佐渡の声		公明党	社会民主党	市民クラブ		議長
		賛成	反対	川原茂	林純一	室岡啓史	山本卓	佐々木ひとみ	駒形信雄	金田淳一	佐藤孝	広瀬大海	村川拓人	坂下真斗	平田和太龍	栗山嘉男	中川直美	山本健二	中川健二	山田伸之	荒井眞理	佐藤定	近藤和義	坂下善英
陳情5	否決	0	20	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-

※ ○は賛成、●は反対、退は退席、欠は欠席。なお、議長は採決に加わらない。

市政の ここが聞きたい!

11名の議員が一般質問を行いました。

平田和太龍（リベラル佐渡）…………… P7㊦

- ① 観光について
- ② 私立高校無償化の影響について
- ③ 公民館利用について

村川拓人（リベラル佐渡）…………… P7㊦

- ① 水道管へのガス混入事例における広報活動の在り方について
- ② 風通しの良い職場の在り方と不適切事案の防止対策について
- ③ 緊急事態や不適切事案の洗い出しと広報活動の在り方について

金田淳一（新生クラブ）…………… P8㊦

- ① 佐渡市総合計画（後期）策定に向けて
- ② 部活動の地域展開と市スポーツ協会の在り方
- ③ 佐渡市役所の信頼回復に向けた処方箋は

山本健二（佐渡の声）…………… P8㊦

- ① 公共交通バス会社への補助金について
- ② 通学通勤時間外で搭乗者人数が5人以上いる路線はあるか
- ③ 真野行政サービスセンター改修工事後、屋内避難所に出来ないか
- ④ 電気自動車充電施設について
- ⑤ 佐渡汽船株が10万株から1株になることについて他

佐藤定（市民クラブ）…………… P9㊦

- ① 農業インフラ維持を入口とした関係人口づくりと二拠点生活の推進について
- ② 少子化時代の学校統合と地域を守る教育について
- ③ LPガス混入事故について

山田伸之（公明党）…………… P9㊦

- ① イラン情勢による物価高対策とナフサ不足への対応について
- ② 胃がん検診への胃カメラ検査導入について

坂下真斗（リベラル佐渡）…………… P10㊦

- ① 地域おこし協力隊の移住・定住促進と島内事業者の活性化について
- ② ふるさと納税目標達成に向けたロードマップと関係人口創出について
- ③ 行政の信頼回復に向けた組織改革と行政運営

中川健二（佐渡の声）…………… P10㊦

- ① 選挙公報の全戸配布をやめたことで公平性は保たれているか
- ② 嘱託員制度継続を希望する声が多いが今後の進め方について
- ③ 佐渡空港 2,000メートル化について

中川直美（日本共産党市議団）…………… P11㊦

- ① 憲法改正について
- ② 文化財団や佐渡観光交流機構等の外郭団体の見直しについて
- ③ DX、自治体情報システム標準化の進捗状況
- ④ 市政事務嘱託員による文書配布の廃止について
- ⑤ 市民センターへの移行について 他

荒井眞理（社会民主党）…………… P11㊦

- ① 東京電力の柏崎刈羽原発の運転再開を踏まえた緊急時避難について
- ② 住民への配布物や回覧物などの手段変更について
- ③ 町内会・自治会運営の実態について
- ④ AIと佐渡の未来について
- ⑤ ユネスコ世界文化遺産としてのフルストーリー、全体の歴史の語り方について 他

栗山嘉男（日本共産党市議団）…………… P12㊦

- ① 中東情勢に伴う資材不足や価格高騰から暮らしを守る対策を求める
- ② 子育て支援について

あみかけ の項目は、本文に内容を掲載しています。
※本文は、質問した議員本人が要約して執筆したものです。



誰もが使いやすい 公共施設を目指して

平田和太龍（リベラル佐渡）



問 公民館や社会教育施設の利用申請のオンライン化やキャッシュレス決済の導入について、初期費用や維持管理費、費用対効果をどのように考えているのか。

教育次長 県内自治体の導入事例では、予約システムの導入費用は約800万円から900万円、維持管理費は年間30万円から120万円程度である。教育委員会としてデジタル化への課題認識が十分ではなかった面もあるため、総務部と相談しながら、市民サービスと業務効率化の両面を踏まえ検討を進めていく。

問 現状の施設予約は窓口で申請書を記入し、担当者が台帳で空き状況を確認する方法となっていることから、市民が施設ごとの空き状況や予約状況をインターネット上で確認できる仕組みを導入できないか。

教育次長 自治体向けの安価なグループウェアや、市ホームページに予約カレンダーを掲載する方法もある。一方で、簡易的なシステムでは予約状況のリアルタイム性や正確性に課題があり、紙での処理が残ることによって業務が二重になる可能性もあるため、最適なシス

テムについて今後検討していく。

問 障がいのある方が健康づくりや社会参加のため、安心して施設を利用できるよう、公民館やスポーツ施設を含めた支援制度についてどのように検討しているか。

教育次長 社会教育施設や公民館を含めた公共施設全体としての考え方が必要である。現時点では詳細な実態は把握していないものの、他市の事例も参考にしながら、公共施設全体の中で適切な対応を検討していく。

問 施設によって障がいのある方の利用料金の取扱いが異なっていることから、市有施設全体で統一した支援制度を設ける考えはないか。

市長 これまで教育委員会所管の施設では、施設によって利用料を徴収する施設と徴収しない施設があったことを把握していなかった。市長部局へ移管された現在は、市全体で制度を統一する方向で進めていき障がいのある方への対応については早急に検討を進め、市全体の施設としての方向性をできるだけ早い段階で決定し、議会へ報告したい。



3月31日の 水道管ガス混入事例について

命に直結する水。公衆衛生
には精神的な不安払拭も
大事な観点だ!!

村川 拓人（リベラル佐渡）



問 両津地区で水道管へのガス混入事案が発生した。市は「飲んででも人体への影響はありません」と広報したが、具体的な原因や安全性の根拠が示されず「何が起きたのか分からない」「本当に飲んで大丈夫か分からない」との声が寄せられた。広報的な課題は。

市長 まず安全性の確認を最優先に行い、飲用に問題がないことを把握したうえで、対象地域に対し緊急情報伝達システムや市LINE等で広報した。上下水道課としては適切な範囲に必要な情報を届けられたと考えている。届かなかった方がいた場合は理由を調査し、次に生かしていきたい。

問 どのようなガスが混入したのか、なぜ飲用可能と判断したのが分からず不安を招いた。原因や性質、水への影響など、最低限の説明を加えるべきではないか。

上下水道課長 市LINEは文字数の制約があり、必要最低限の情報を絞って発信している。今回は水道事業者として「飲用可能である」という点を最優先に伝えたものである。

問 インフラ供給者として安全に使用していただくため、収束の周知が必要だったのでは。蛇口を

捻ってガスがボコボコでなければ問題ないというような目安を示すべきだった。

上下水道課長 長期不在の家庭なども考慮すれば、どのような状況で収束と言うべきかは判断できない。ただし「できる事は全て終わったが水道からガスが出ることもありうる」という広報はできたものと考えている。

問 緊急時に最低限伝えるべき情報をテンプレート化し、迅速かつ分かりやすい広報を行う仕組みが必要ではないか。

市長 事案ごとに内容が異なるため、広報文を一律にテンプレート化することは難しいと考えている。正確性を確保しながら、状況に応じて柔軟に対応することが重要である。

問 文章をツラツラ書かれて理解し難くなっているのが現状だ。水が飲める、飲めない等の項目を箇条書きして分かりやすく整理するぐらいはできるはずだがどうか。

上下水道課長 過去事例をもとに例文を作成して対応してきたことから、議員の意見も取り入れて分かりやすい広報に努めたい。



島の医療を守れるか、 国・県からの支援はどこまで？

経費高騰により病院経営
はどことも厳しい。医療への
アクセス低下が心配…



金田 淳一（新生クラブ）

問 地元紙報道では昨年のJA新潟厚生連実質赤字は36.5億円であり、厳しい状況だ。佐渡市内でどこまで医療提供できるのか、地域医療構想策定の進捗状況と今後の医療体制維持をどう考えるか。

市長 佐渡総合病院を中核として両津病院を含めて支えていく方向性には変わりはない。具体的には県と厚生連病院がある6市で2年間財政支援をしてきた。もう1年継続し国・県と定期的に協議の場を設け、様々な予測分析をしながら議論していく。

市民生活部長 医療構想は今でも島内完結を述べており継承したい。県が策定に入っているのだからこちら側の意見を述べている段階だ。

問 更なる病床減や診療科の減少が心配だ。

市長 とにかく厚生連の経営をしっかりと見据えたい。両津病院についても経営問題を抱えている。我々の財政でどの程度の支援ができるのか、県が新たな枠組みを作れるのか、国がそれにどう関与できるのか、そして診療報酬改定後どうなるのかも明確でない。この大きな問題は佐渡だけではなく全国離島振興協議会としても重点事項と

して国に要望しているので、更に議論を進めていきたい。

問 両津病院の収支状況はどうか。

両津病院管理部長 令和6年度の経常損失は約1億7600万円。元利償還額は今年度約3億9700万円、その後ほぼ同額で推移し令和12年度からは約3億円となり減少していく。

問 令和6年に示された両津病院経営強化プランに「将来は経営形態の見直しが必要となるかも」と述べている。財政資料を見るにつけ、2つの病院が同じ方向を向いて、更なる連携が必要だと思うが。

市民生活部長 人口減少と患者の皆様の状況を踏まえて、佐渡総合病院が中核となり両津病院が支えながら必要な対策を講じているというのが、現在の状況である。

問 看護師養成サテライト校について、その後どのような動きがあるのか。

市民生活部長 この4月から県や関係機関と連携し学校の設置主体を含め検討中である。令和10年4月開校が可能かも含め、県内外の看護系学校にヒアリングを実施している。



電気自動車充電施設・ 貨物船の時間変更について

山本 健二（佐渡の声）



問 本庁舎脇の電気自動車充電設備設置場所は借地か。借地料は。

市長 本庁舎の電気自動車充電施設設置場所は借地である。借地料は個人情報に該当するため、お答えできない。

問 本庁舎周辺にある民間施設に影響ないか。

市長 現在民間に1か所、農協のところにあるが、故障中ということで使われていない。また頻度を考えると、全く影響はないというふうに認識しているが、いずれにしてもできるだけ多くの人に使ってもらうにはどうしたらいいかということは、これから議論を重ねていきたいというふうに考えている。

問 市内に電気自動車は何台あるか、電気自動車は今後増えるか。

市長 市内の電気自動車の保有台数は把握していない。

問 災害時に家庭用モバイルバッテリーに充電できるか。

市長 家庭用モバイルバッテリーの充電は、そもそも

急速充電器から充電するというのではないので、市役所の中でもどこでも充電できると思うので、急速充電器で充電する必要は全くない考える。

問 貨物船の運行時間変更で市民・事業者に影響はないか。

市長 佐渡汽船に確認した。かなり時間をかけて荷主と話をしている状況であるので、現在のところ特に影響はないというふうに聞いている。

企画部長 新潟日報を窓口として事前に協議されたということで聞いているし、到着時間が5時半に変わったことでの影響で配達が遅れているのか、それとも島内の中でどこか目詰まりが起きて配達が遅れているのか、その辺りは特にこちらのほうでは今把握できていないので、今後佐渡汽船のほうにも確認をさせていただく。



水道水の安全確認報道の責任は市だ

市民は佐渡市の水道水を飲んでいる。



佐藤 定（市民クラブ）

問 令和8年3月31日発生したLPGガスが水道管に混入した可能性事故では約330世帯に影響が及んだと報道されている。市として人体への影響はないと説明されているが、水道という市民生活の根幹を支えるインフラに関わる重大事案であり、市民の間では安全確認について強い不安感の声が上がっている。

市長 市は水道管理者として安心、安全な水を安定的に供給するという責任がある。今回の事故ではガス混入による人体への影響がない確認が取れ、水道管に損傷がなかったことから、対象になる皆様に対して安心して飲んでいただける旨を広報した。今回の事故に関し、水道管理者としては適正な対応ができていたと考えている。

問 事故の説明責任と広報について市民と水道事業者を営む市と認識が違っている。確かに原因者責任の考え方だが、市民が飲んでいるのは佐渡市の水道で、市民はガス事業者の水を飲んでいるわけではない。佐渡市の水道を利用しているので、市として主体的に説明責任が求められる。

上下水道課長 今回市では事故が発覚した際に飲める

という言葉質を確認し皆様にお知らせした。広報を主体的に行ったのは市であり市が責任を持って供給できると判断した上で以後の対応を取っている原因者に再発防止等を求め、佐渡市が責任を持って飲めると広報を行った。

問 ガス事業者から事故について文書は出ているが原因の記載はない、水は大丈夫ですとの案内だ。しかし、佐渡市として最終的に安全確認のお知らせを文書で出すことが必要だ。市LINEや防災ラジオでお知らせも必要だが、今回はガス混入事故という稀有な事例で、市が安全であるとの説明を市民は求めている。水道事業者としての責任は重大で次回への対応はどうするのか。

上下水道課長 今回もきちんと責任を持って、安心して飲めると広報を行ったが、分かりにくいという点があったことは重く受け止め、次回の広報から気をつけていく。



イラン情勢に対する事業者・子育て世帯支援を

山田 伸之（公明党）



【イラン情勢の対策を求める】

問 イラン情勢による原油価格の上昇やナフサ不足の不安で、医療・介護、建築、塗装、板金、輸送など多くの事業者に深刻な影響が及び始めている。医療・介護分野への物価高支援、無利子・無担保融資、住宅リフォーム支援の柔軟な対応、低所得者・子育て世帯への支援を講じるべきではないか。

市長 事業者ヒアリングでは、現時点で資金繰りの相談の急増や事業継続に深刻な影響が生じている事案は確認されていない。事業者としっかり状況を把握しながら、国、県と連携し取り組んでまいりたい。医療・介護も、病院経営というのは公定収入なので、対応がしっかり要るものと考えており、地方の病院の危機は国のほうに訴えていきたい。

【国の交付金足りるのか】

問 重点支援地方交付金は昨年12月の時より約8億円少ない3,585万4千円。継続する円安や物価高に加え、イラン情勢による影響も踏まえると、今

回の交付金だけで足りるのか。率直な受け止めを伺う。

市長 油に関してはリッター20円程度の補助金が入っている。電気料等も基本的には抑えるということで、この数字だけではない。私自身は今、国の中かなり強く物価対策は行っているという認識を持っている。

【政府に対し要望すべき】

問 本来こういった対策は政府がしっかり対策を立て、その支援に対して市が隙間を埋める、足りないところを上乗せしていくのが本来の姿だ。市の現状をしっかり把握し、足りないところは何なのかについて政府、国に対してしっかり要望を上げていきたい。

市長 地方の課題を国の場でテーブルに上げさせていくのが地方の首長の仕事だと思っている。市長会や離島振興協議会を通して課題をしっかり国に伝えていく。佐渡としての課題、そして地方としての課題を分けながら、国に出していくことにしっかり取り組んでいく。



民間の力で挑む移住促進・ 納税戦略と確実な行政へ

坂下 真斗（リベラル佐渡）



【地域おこし協力隊を企業の力に】

問 移住者の定住と島内企業の活性化を両立するため、民間企業へ地域おこし協力隊員を派遣する「受入法人等委託型」をもっと広めるべきである。漁協などから「民間は使えないのでは」という誤解の声もあるが、現在の導入状況と今後のアプローチを問う。

地域振興部長 現在は一般社団法人に2名、合同会社に1名が着任している。ミスマッチ防止に向け、体験インターン実績各年2名によるマッチングを強化中である。今後は事業者向けの説明会開催も含め、地元の会社がより活用しやすい環境づくりを研究していく。

【ふるさと納税・目標達成へのステップ】

問 令和7年度の寄附額は約9億5千万円。今年度目標の15億円、将来的な20億円達成に向け、課題解決型の「ふるさと納税型クラウドファンディング（GCF）」の導入や、計画より6割にとどまっているポータルサイトの閲覧数を伸ばす具体策を問う。

企画部長 15億円達成にはネット閲覧数120万回

が必要である。検索で佐渡が上位に出るようページ再編などの対策を急ぐ。民間のアイデアを応援するGCFについても、スタートに向けて検討を進めていく。

【チームワークで確実な行政運営へ】

問 多発する事務ミスに対し、市は対策チームを組織したが、精神論や手続きを増やすだけでなく、職員が一人のミスをみんなでカバーし合える環境をつくるべきである。

副市長 対策チームで原因究明に着手するとともに、まずは補助金事業の手順の「見える化」に着手した。ミスは常に起こり得るという前提に立ち、従来の「報告・連絡・相談（ホウレンソウ）」に加え、管理職による結果の「確認」を徹底する。部署内での孤立を防ぎ、互いに連携して二重にチェックし合う協働体制を築く。一人のうっかりミスが最終的なエラーに繋がらないよう組織力を高め、確実に質の高い市民サービスを取り戻していく。



佐渡市からの連絡は全て SNSにしたいの？

文書配布をやめて
経費削減？



中川 健二（佐渡の声）

問 選挙公報の全戸配布をやめたことで市民の公平性は保たれているか

選挙管理委員長 このたびの新潟県知事選挙における選挙公報については、新聞折り込み及び希望される市民の方への個別郵送により、約1万1,000世帯に配布しており、市のホームページへの掲載、市役所本庁や各市民センター、図書館などに備え置いており、市民の皆様それぞれのニーズに応じた形での閲覧機会を確保できたと考えている。

問 有権者は佐渡市で4万人いるわけで、仮に新聞折込で1世帯2名の人が見ることになったとしても残りの2万の有権者は見る機会もなかったということになる。この格差をどのように考えているか。

選挙管理委員長 今後は個別郵送希望の周知の方法について検討していきたいと思っている。新聞折り込み、個別郵送の2本立てがしっかりと認知され、周知されていくように努めていきたいと考えている。

問 文書配布もなくなると聞いている。この場合、市民への周知が未達になることはないのか。SNSだけでどれだけの市民に伝わるのか問う。

市長 配布できない地域があり、見直すということで今アンケートを取りながら検討している。市政の情報発信としては無くなるのは問題なので、他の手法を取りながらも必ず情報はお伝えする。これはやり方が違うだけで情報は必ずお届けしたいと考えている。

総務部長 嘱託員による文書配布、仮にそれをしない地域があったとしても、郵送を希望される世帯の皆様には文書を郵送させていただき、情報の未達は出さないようにする。その他にもホームページであるとか、そういったその他の情報伝達方法もあるので、情報の未達はないと考えている。今後どのようにして郵送の希望確認を取っていくかということについては、基本的に集落の嘱託員の方を通じて、その希望の取り方もアンケートの結果を見ながら考えてまいりたいと思っている。



地区の市政文書配布はどうか？ 廃止するならタブレット購入補助を！

文書配布は3月議会で各団体と協議すると答弁してるのに「把握していない」って？



中川 直美（日本共産党市議団）

【憲法改正に平和を守れの声】

問 高市政権下で憲法改正や非核三原則の見直しが議論される中、危機感を持ち平和を守れの世論が根強い。自治体として平和行政をどう進めるのか。

市長 個人的に平和憲法は素晴らしいと思うが、国際情勢も踏まえ、自衛隊や国のあり方は国民的議論が必要と考える。

【地域は文書だけでなく市道管理も限界】

問 地域等で一番困っているから市政文書配布の廃止を検討しているというが、市道管理も集落任せで限界との声がある。行政が取り組むべきではないか。

市長 将来的な課題として議論が必要。

総務部長 文書配布の見直しは、集落へのアンケート結果を踏まえて判断する。

問 赤い羽根共同募金など集落を通じた募金について、関係団体との協議は進んだか。

総務部長 正式協議状況は把握していない。

問 3月議会では関係団体と協議すると答弁していたが、なぜ実施されていないのか。

総務部長 どの団体と話をしたか承知していない。地区アンケートを取りまとめ検討したい。

問 県民だよりなどは、今後必要な世帯へ県が郵送するという理解でよいのか。

総務部長 関係団体と調整が必要で、まだ結論は出ていない。

【ネット利用把握とタブレット購入支援を】

問 約9,500世帯が高齢者のみ世帯である。インターネット利用状況を把握し、タブレット購入支援も検討すべきではないか。文書配布を廃止するなら、選挙公報を含め情報が確実に届くための各戸の確認が必要ではないか。

市長 文書配布の見直しとあわせ、インターネットの活用も含め検討していく。

総務部長 インターネット利用状況は把握していない。郵送対象かどうか、全世帯の確認を行う。



柏崎刈羽原発の事故の 避難計画を市長会で協議せよ

もっと市民が語りたくなる
世界遺産のために身近な
調べ物と研究を進めましょう。



荒井 眞理（社会民主党）

問 柏崎刈羽原発の運転再開を踏まえ、緊急時避難について知事とどのような協議を進めているか。

市長 基本的に計画はない。万が一事故が起きた場合は、原子力災害対策指針に基づき、屋内退避、放射線モニタリング結果を踏まえた避難、一時移転、飲食物摂取制限等を行うとなっている。まずは法令に沿って取り組むと考えている。

問 あの原発は、大きい地震で4回被災しており、先日も建屋の下に大量の海水が侵入した。その時に地震が起きることもある。避難計画策定し、避難訓練も実施すべきではないか。

市長 ルールについて常に考えるべきものと思う。議員からの指摘なので市長会で30キロメートル圏外がどう考えるのか話を聞いてみたいと思う。

問 約400年の歴史を持つ佐渡金銀山のユネスコ世界文化遺産として、そのフルストーリー、全体の歴史の語り方について、歴史の出来事を隠さずに説明することが必須要件としてユネスコから要請されている。これについてどのように応えているか。

市長 ユネスコの勧告について、昨年12月に日本政

府が保全状況報告書を出しており、本年7月に開催される世界遺産委員会にて審議されると認識している。報告書には、明治時代以降の労働者に関する説明、展示の強化として相川郷土博物館の展示更新や現地説明板、誘導板の更新など行ったことが記載されている。世界遺産保全のために構成資産関連文化財の歴史等に係る調査研究についてできる限り継続していく。

問 3月に開催された「佐渡島の金山」シンポジウムの基調講演で講師が、佐渡の世界遺産は江戸期までで歴史を切っているが全体を語ることと、市民が語れるものに作り上げていくために、積極的な調査研究について勧めておられた。これを、佐渡市はどう展開していくのか。

観光文化スポーツ部長 世界遺産に登録されず構成資産にならなかった北沢浮遊選鉱場も含め、また無形のものも価値があると謳われている。民間の研究者の調査研究も必要になり、一例として6月12日に県と市で新たに保存と活用等に貢献する調査研究に取り組む個人及び団体に対して補助事業を実施するとプレスリリースしたところである。



中東情勢から暮らしと営業守る 中学校給食費無償化求める

栗山 嘉男（日本共産党市議団）



問 米国とイスラエルによるイラン攻撃を契機としたホルムズ海峡の封鎖を受け建設現場をはじめとし、医療関係、物流、食品関連など、商品の値上げや資材不足が深刻になっている。新潟県が行った中小企業組合のアンケートの結果では、約8割が中東情勢について影響があると回答あり。市長の認識を伺う。

市長 実態調査は行っており事業者や銀行の方々からは、資金繰り相談の急増、事業継続に深刻な影響が生じているという状況はあまり出ていない。目詰まり等問題があったら、国に報告し対策を取ってもらおう。

問 今の状態で何か対応を準備しておくべきではないか。

市長 原因は、イラン米国だけではない。円安の問題、全体的な物価高騰もあり、全部かみ合っているの、国、県と話をしながら、国の動向も注視し、対策をお願いする。

地域振興部長 県の融資制度とか、利子相当の給付を行うマル経融資制度などの既存制度の活用を促進しながら支援を行う。

問 事業者は7割近くの方が燃料や光熱費への直接支援、半数前後の方がコロナ禍に実施された持続化給付金、家賃支援給付金のような支援策をしてほしいと要望している。

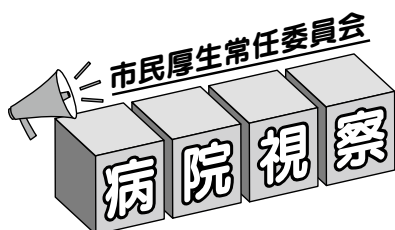
市長 油や電力料金の支援は政府が実施し大きな予算になっていると思っている。

コロナ禍の支援策は、現在は経済自体かなり大きく動いて大分状況が違う。コロナ禍と同じような対策の補助金が適正かどうかの議論が必要と考えている。

問 4月から国の制度として、公立小学校での給食無償化制度が始まった。中学校給食無償化の一日も早い実現が求められる。県内では、妙高市など8自治体にできて佐渡市でできない理由について伺う。

市長 物価高騰が始まったときから、小中学校給食食材費の物価高騰分は市のほうで支援をしている。財政の持続可能性を踏まえながら、政策を踏み込んでいく考えなので、他市が行ったから行うという発想は全くない。

教育長 現在の国の制度も小学校給食費の負担軽減であって、次年度以降の無償化継続を確約している状況ではない。



地域医療を守るために

両津病院・佐渡総合病院で意見交換



市民厚生常任委員会では、今年度の所管事務調査テーマを「医療提供体制の維持・確保」とし、市民の皆さんが将来にわたり安心して必要な医療を受けられる地域医療のあり方について調査を進めています。その一環として、両津病院と佐渡総合病院を訪問し、病院関係者と意見交換を行いました。

今回の調査では、「電子カルテの更新」「病床のあり方」「病院間の連携」の3つを中心に、現場で抱える課題や今後の方向性について説明を受けました。

両津病院では、高齢化が進む中で、訪問診療や救急医療など地域に密着した役割を担っていることや、医師・看護師の確保、病床利用率の向上などが課題であることを伺いました。また、地域住民の身近な病院として、在宅医療を支える役割が今後さらに重要になるとの説明がありました。

佐渡総合病院では、令和10年1月からの運用開始を目指す電子カルテ更新について説明を受けました。また、今後の病床のあり方については、人口減少や医療需要の変化を踏まえ、病床数の見直しも含めたさまざまな考え方が示されました。委員会では、市民の皆さんが安心して必要な医療を受けられる体制を維持することを第一に、両病院がそれぞれの役割を生かしながら連携を深め、持続可能な医療提供体制を構築していくことの重要性を確認しました。

委員会では、現場で働く医療従事者の皆さんから直接話を伺い、地域医療が多くの方々の努力によって支えられていることを改めて実感しました。今後も現場の声を大切にしながら調査を進め、市民の皆さんが安心して暮らせる地域医療の維持・確保に向けて、必要な提言につなげてまいります。



議員はこんな活動・調査研究をしています！

令和7年度 政務活動費をお知らせします

佐渡市では、議会の会派や議員に対し、調査研究等に必要な経費を充当するよう、1人当たり月額1万円の政務活動費を交付しています。

下記の表で、それぞれどのような項目に使っているかご覧になれます。

交付額以上使用した場合は、議員の自己負担となっています。また費用の全額を充当することが適当でない場合は、按分により充当します。

なお精算の際には、全ての領収書の提出と残預金の返還を義務づけています。

詳細は、佐渡市議会ホームページで公開しています。



(単位：円)

会派	①交付金	②支出額	返還金① - ②
政風会	600,000	600,989	0
山本 卓（代表）	調査研究費	423,430	視察費
川原 茂、林 純一	広報費	177,559	議会報告印刷代 他
坂下 善英、室岡 啓史			
新生クラブ	480,000	505,387	0
駒形 信雄（代表）	調査研究費	266,060	視察費
佐藤 孝、広瀬 大海	研修費	45,347	研修会費
佐々木 ひとみ	広報費	166,640	議会報告印刷代 他
	会議費	27,340	会議参加費
リベラル佐渡	360,000	402,918	0
平田 和太龍（代表）	広報費	402,918	議会報告印刷代 他
村川 拓人、坂下 真斗			
日本共産党市議団	240,000	326,897	0
中川 直美（代表）	広報費	296,637	議会報告印刷代 他
栗山 嘉男	資料作成費	4,778	インク代 他
	資料購入費	25,482	書籍代 他
佐渡の声	240,000	244,357	0
中川 健二（代表）	調査研究費	40,540	視察費
山本 健二	広報費	91,457	議会報告印刷代 他
	資料購入費	112,360	書籍代 他
公明党	120,000	89,250	30,750
山田 伸之（代表）	広報費	41,250	議会報告印刷代 他
	資料購入費	48,000	新聞購読料
社会民主党	120,000	135,065	0
荒井 眞理（代表）	広報費	57,900	議会報告印刷代 他
	資料作成費	1,089	インク代
	資料購入費	76,076	書籍代 他
市民クラブ	240,000	670,637	0
近藤 和義（代表）	調査研究費	15,000	団体会費
佐藤 定	広報費	502,307	議会報告印刷代 他
	資料作成費	37,932	インク代 他
	資料購入費	115,398	書籍代 他
無会派	120,000	184,984	0
金田 淳一	調査研究費	106,498	視察費
	研修費	78,486	研修会費
合計	2,520,000	3,160,484	30,750

佐渡市議会議員の報酬について

◎議員報酬（月額）

議長 347,900 円 / 副議長 285,100 円 / 議員 268,200 円

会 | 派 | 紹 | 介

同じ意見や考え方を持つ議員のグループを「会派」といいます。各会派を知ってもらうため、質問に答えていただきました。

質問

①会派の活動テーマ ②知られざる特技 ③会派のキャッチフレーズ (◎=代表)

新生クラブ

◎駒形信雄

佐藤孝、広瀬大海、金田淳一、佐々木ひとみ

真面目に笑顔で活動中

問① 私たちは毎年、会派として議会報告会を開催し、多くの市民の声を直接伺い、政策へ反映できるよう努めました。また、多様な会派・議員がいる中で調整役を担い、佐渡市発足当初から最大会派として議会運営をリードしてきました。近年は、能登半島地震を受けて県や国へ佐渡の現状を提言したほか、医療体制の維持に向け厚生労働省への要望や専門家との意見交換を踏まえ市へ提言を行っています。さらに、佐渡航路の船舶新造では物価高を踏まえた支援策を国へ提案するなど、国との対話も重ねてきました。これからも専門家や関係機関との連携を深め、佐渡の課題解決に取り組んでまいります。

問② メンバーの十八番カラオケ。会員制クラブ「新生」の佐々木ひとみママは「狙いうち」、漢気No.1の駒形信雄は「ふりむかないで」、あま〜い！歌声の佐藤孝は「千の風になって」、昔のアイドル好きの金田淳一は「ひとりじゃないの」、中年なのに若作りの広瀬大海は「イイじゃん」。カラオケはいつも大盛り上がりです！

問③ チームワークなら負けません！今日も元気に、佐渡のために！



県防災局・内閣府防災担当（防災）、厚労省（病院）
国交省・内閣府海本部（船舶建造）と意見交換

政風会

◎室岡啓史、林純一、川原茂、山本卓

佐渡の未来へ責任を！

問① 私たち政風会は、保守系会派です。議員活動で最も大切にしているのは、貴重な公金を有効に活用し、「最少の経費で最大の効果」を実現するための政策提言です。人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、防災、医療、介護、福祉、教育など多様な課題に向き合い、将来世代に責任ある市政運営の実現を目指しています。また、「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を契機とする観光地域づくりをはじめ、SDGs未来都市、地域循環共生圏、脱炭素先行地域など、佐渡の強みを生かした国のモデルとなる政策を着実に推進していくことが重要と考えています。年一回の島外視察も行い、限られた財源の中で費用対効果を検証し、真に必要な事業へ予算を重点配分できるよう、多角的な視点から議論を重ねています。そして、常に市民目線を忘れずに、守るべき伝統や地域文化を大切にしながら、新たな発想も柔軟に取り入れ、是々非々の姿勢で臨みます。持続可能な佐渡づくりと市民福祉の向上に全力で取り組んでまいりますので、お声をお聞かせください。

問② 日本語の奥深さを分かち合う謎かけや、認定農業者として米・野菜づくりなどにも従事しています。

問③ プレずに柔軟に普通に考える！

リベラル佐渡

◎平田和太龍、村川拓人、坂下真斗

若さと情熱のリベラル佐渡

問① 私たちは、全員が50歳以下の若手3人で活動する会派です。特定の政党や従来のしがらみに縛られることなく、執行部の取り組みに対して「いいものはいい、ダメなものはダメ」と、市民目線で真っ当に判断する「是々非々」の姿勢を徹底しています。私たちの最大の武器は、フットワークの軽さと圧倒的な熱量です。メンバー全員が毎回必ず一般質問の打席に立ち、市民の皆様からお預かりした「日々のモヤモヤ」や「未来へのアイデア」をトコトン議場へぶつけています。若いエネルギーで、佐渡の課題に全力で向き合い、どんな立場の方でもイキイキと暮らせるように尽力します。あなたの声を、ぜひ私たちに聞かせてください。

問② 平田→料理がプロ級、坂下→カニの殻剥きが超速い、村川→コーチの資格持ち

問③ 質問の数だけ、佐渡が変わる。毎回必ず声をあげるリベラル佐渡

日本共産党市議団

◎中川直美、栗山嘉男

住民の声でズバリ発言

問① “市民生活の防波堤” 日本共産党市議団は、住民の要望を受け止める「市政の相談窓口」として、生活相談や地域課題を議会へ届ける橋渡し役を担っています。同時に、行政の予算や事業を厳しくチェックし、無駄遣いや不正を正しています。自治体本来の使命である住民福祉の増進を軸に、国の悪政に対して地方自治の立場から歯止めをかけ、住民の利益を守るために活動しています。

問② 過去はシステムエンジニアの栗山と若い頃、茶道に生け花をやっていた汚点(@_@)。学生時代、落研の会長で一席のもう一人です。

問③ 安心して暮らし続けられる佐渡を、市民と一緒につくる

公明党 ◎山田伸之

一人ですが頑張ってます

問① 「調査なくして発言なし」一現場の声を直接聴き、実態を調査した上で政策を立案・提言することを心掛けています。

問② 佐渡高校時代、新潟県の高校生を対象にしたクイズ番組で優勝しました。ちなみに優勝賞品はウラジオストク旅行です。

問③ 大衆とともに

市民クラブ ◎近藤和義、佐藤定

自立した二元代表制

問① 私たちは、それぞれの政治信条のもとに活動していますが、最も重要視する地方自治の基本である二元代表制のもと、市民の代表として行政を適切に監視・評価する議会のチェック機能を重視しています。政策や予算は賛成・反対を前提とせず、市民の視点に立って公平・公正に判断し、建設的な政策提案にも積極的に取り組みます。市民の声を丁寧に受け止め、市政に反映させることで、開かれた議会と信頼される市政の実現を目指します。

問② 耕作放棄地解消目指し奮闘中

問③ 大勢に流されず市民目線で

佐渡の声 ◎中川健二、山本健二

佐渡の声 会派紹介

問① 佐渡を深く愛する2名会派です。市民の皆様の声に耳を傾けることにはバリアフリーをモットーとして市民一人一人の声を丁寧に受け止め、現場の実情に根ざした政策提案を重ねています。特に、佐渡の自然を生かした農林水産業で収益を上げることが目標とし、現在は水産養殖を根付かせるための活動をしています。

問② 趣味は釣りで、海と共に生きる島の感覚を大切にしながら四季の釣りを楽しんでいます。

問③ 「島の声を、未来へつなぐ」

社会民主党 ◎荒井眞理

3年目の社民党会派

問① 社民党は、市民生活や市民活動として取り組んでいる問題を解決していくことを大切にしています。そのために全国自治体議員との繋がりからも学び、また佐渡島の特有の問題解決にも根気強く取り組んでいます。市民の身近にいる会派を目指しています。

問② 2か国語の通訳します。

問③ 「何より平和」が好き

無会派 議長 坂下善英

議会運営について

問① 市民に開かれた議会を目指し、議会改革を推進します。また、議論を充実させ、市民の声が市政に反映される仕組みづくりに取り組みます。そして、議長として公平・公正な議会運営に努め、信頼される議会の実現を目指しています。

問② 農業と漁業に携わり、自然の恵みを感じる毎日です。

問③ 市民に信頼される議会へ



令和8年7月12日(日)

市民との意見交換会を開催しました。



議会のあるべき姿を定めた佐渡市議会基本条例が令和6年(2024年)施行され3年目に入りました。「議会報告会・市民意見交換会」を2回行ってきましたが、今回は、市民との対話を重視した「意見交換会」を開催しました。両津・相川・小木の3会場で同時開催し、活発な意見交換が行われました。今後も市民の皆さまの声を伺う機会をつくり、市民に寄りそう議会を目指してまいります。

会場① あいぽーと佐渡

坂下真斗・栗山嘉男・佐々木ひとみ・
平田和太龍・中川健二・室岡啓史・金田淳一



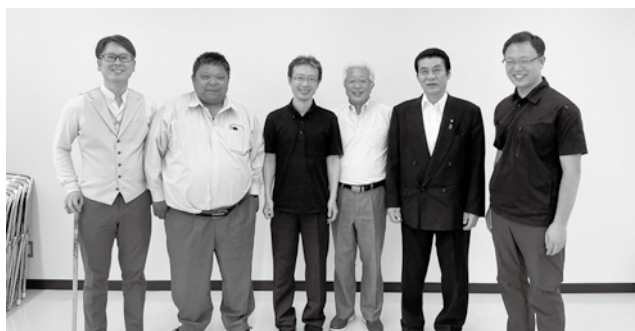
会場② あいかわ開発総合センター

川原茂・林純一・佐藤定・駒形信雄・山本卓・
中川直美・坂下善英



会場③ 小木地区公民館

村川拓人・山本健二・山田伸之・佐藤孝・
近藤和義・広瀬大海



たくさんのご意見ありがとうございました！

いただいたご意見等の一部をご紹介します。



市民の声を行政へ (議員・議会)

- 議会には市民の声を行政へしっかり届けてほしい。
- 議員がどんな人か知ってもらうためのPRはいいことだ。市民の側も議会を知る努力をしたい。
- 議員の方々が、自分が掲げた公約に対して誠実に取り組んでいるのか知りたい。
- 議員も税収増など稼ぐことを考えてほしい。議員視察も稼いでいる自治体に行ってもらいたい。

子どもが帰りたい島に (人口減少・移住定住)

- 子どもが帰りたいと思う島にしてほしい。
- 外国からの移住を促進できないか。
- 移住者にはカフェやゲストハウスの経営でなく、農林業に従事してもらうようにしてほしい。
- 「介護の島」として特色を出して、佐渡での定住につなげるべき。

若者が生活できる産業を (産業振興)

- 補助金は一時的なもの。産業のノウハウの蓄積や継続できる方法を考えてほしい。
- 耕作放棄地などを活用し、若者が生活できる産業を育成してほしい。
- 総合計画を読んでも将来像が見えにくい。産業振興に関する落とし込みが弱い。

子育てしやすい環境に (教育・子育て)

- デジタル教育だけでなく、人との交流や自然体験も大切にしてほしい。
- 若い世代が結婚・子育てできる環境づくりが必要だ。
- 戦争の悲惨さを子ども達に伝えるため、修学旅行の行き先は広島にしてほしい。
- 島内高校の魅力発信を行い、島内での進学希望者を一人でも増やしたい。

交通インフラの充実を (交通)

- 滑走路の延長を推進しなくてもよいのでは。現状や課題が市民に十分伝わっていない。
- 空港整備は佐渡の発展に不可欠である。
- 佐渡まで来るための交通費が高すぎる。

僕の使いたい遊具が壊れている (その他)

- 公園の遊具が使えないところが多い。
- 温泉施設が少なくなってきたが、市民の健康のことを考えれば複数の施設は残すべきだ。
- 市営住宅の取扱いが地区により対応が異なっているので、公平にしてほしい。
- 南佐渡は取り残されているように感じる。地域格差を生まないようにしてほしい。 など

次回『意見交換会』は今年度中に開催する予定です！！

より多くの市民から手に取ってもらえる 紙面づくりに向けて



議会広報特別委員会

議会広報特別委員会では会議で何が議論され、どのような判断が行われたかを分かりやすくお伝えすることを第一に、議会だよりを編集しています。一方で「文字が多すぎて読みづらい」「面白くない」といったご意見もいただいてきました。

そこで今回から、写真やイラスト、親しみやすい表現を取り入れ、議員一人ひとりの人柄や活動が伝わる工夫にも挑戦しています。

もちろん、議会広報として事実に基づいた編集を徹底することや、親しみやすさを目指した表現の中にも、議会としての品格を忘れることはいたしません。

新しい紙面づくりには試行錯誤があると思われますが、市民の皆様から「読んでみよう」「議会を身近に感じた」と思っただけのことが目指して参りますので、ご理解をお願い申し上げます。また、お気づきの点などございましたらぜひお知らせください。より良い議会だよりへと育てて参ります。

まず、手に取ってもらえ、 読まれ、伝わり、参加につながる議会だよりへ ～佐渡市議会だより 編集方針～ (2026 年版)

★基本姿勢

佐渡市議会基本条例の理念に基づき、市民に読まれ、理解される議会だよりを目指す。議会で「何が決まり、なぜ議論され、市民生活にどう関わるのか」をわかりやすく伝える。

★市民参加

市民が議会を身近に感じられる紙面づくりを目標とする。若者、子育て世代、高齢者、事業者など、多様な市民の声を取り上げる。

★政策サイクル

年間の議会活動や政策サイクルを掲載し、議会での指摘や提言が、その後どのように改善につながったかを継続して伝える。

★優先順位

審議結果だけでなく、審議経過や主な論点を伝える。予算、決算、大型事業など、市民の関心が高い案件を優先して掲載する。

★言葉で伝える

常に読み手を第一に考え、簡潔でわかりやすい表現にする。行政用語や議会用語は、できるだけ言い換えるか、解説を付ける。議案の内容、審議経過、賛否結果が伝わるよう工夫する。



★写真・デザインで伝える

見出しは大きく、簡潔で、内容が伝わるものにする。写真、図表、イラストを活用し、見てわかる紙面を目指す。一般質問の写真は、できるだけ議員の表情や動きが伝わるものを使用する。

★デジタル連携

QRコードを活用し、議会中継、資料、SNS、動画などへつなげる。紙面だけでは伝えきれない情報を補完し、市民との接点を広げる。

★編集委員会の責務

編集委員会は、公平・公正・中立の立場で、市民目線の議会広報に努める。



令和 8 年 全国市議会議長会及び 北信越市議会議長会表彰

在職 10 年以上 山本 卓
広瀬 大海
室岡 啓史



請願・陳情の提出期限について

請願・陳情は、原則的には定例会において対応するものとしています。

当該定例会告示日（議会招集日の概ね8日前）までに受理したものについて、その取扱いを議長の意見を付した上で、議会運営委員会に諮って決定します。

ただし、緊急性があり、かつ、次期定例会に持ち越すことが適当でないものにあたっては、この限りではありません。この場合の緊急性の可否については、議会運営委員会で決定します。詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。



全議員加盟の佐渡市小木直江津航路振興議員連盟で 「第1回 越佐まぐろ祭り」に 行ってきました。 6月21日



6月21日、上越市直江津で開催された「第1回 越佐まぐろ祭り」に、佐渡市議会小木・直江津航路振興議員連盟から9名の議員が参加しました。

この催しは、今年1月に行われた上越市・佐渡市の両市議会による交流をきっかけに企画されたもので、航路振興を目的として新たに設立された上越市議会の議員連盟が中心となって開催されました。

会場では、佐渡市と上越市の寿司店によるまぐろの握り寿司の販売や、両市の酒蔵による利き酒コーナーが終日多くの来場者でにぎわい、長い行列ができる盛況ぶりでした。また、佐渡の鬼太鼓や鼓童による迫力ある演奏と演舞が披露され、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

今回のまつりは、小木・直江津航路を軸とした佐渡市と上越市の交流を一層深める機会となりました。小木・直江津航路は、両市を結ぶ重要な地域資源です。今後も議員連盟として、航路の利用促進と交流人口の拡大に向けた取り組みを後押ししていきます。



姉妹都市議会交流会

7月15日(水) 16時

入間市議会議員6名が来庁！



入間市では現在、新庁舎建設に伴い議場も新しくなることから、これを契機に議会運営についても様々な取り組みを検討しているところです。佐渡市では令和5年に新議場が竣工し、新しい議場での運営を行っていることから、それぞれの目線で議会運営のあり方について意見交換を行う機会となりました。



また、トキの森公園で現地視察を行い、トキについての知見を深めていただきました。

両市議会が引き続き情報交換を行い、それぞれの取組や課題を共有することで、市民に分かりやすく、開かれた議会運営につなげてまいります。

アメリカ、イスラエルによるイラン攻撃の即時中止に関する意見書について

アメリカ、イスラエルによるイラン攻撃の即時中止に関する意見書を全会一致で可決し提出してくれたこと、とても頼もしく誇らしく思いました。

国民の意見を全く聞かずに、次々と戦争準備のためのとんでもない法案を通しています。けれど、こうして声を上げ続けることが大事だと思います。

誰も戦争なんかしたくないし、子ども達に絶対に戦争なんて経験させたくない。

議会広報 へのご意見お寄せください！



佐渡市議会ホームページに「議会広報に関するご意見」のコーナーを設置しています。

すべてのご意見等に十分に答えることはできませんが、一層市民に親しまれる「議会だより」や議会広報の参考にさせていただきます。

お気軽にご意見をお寄せください。

制作者の
ひと言

今月の表紙「高千家畜市場」

見てもらえる表紙のために、高千家畜市場に取材に行ってきました！

佐渡は最高級和牛となる黒毛和種の子牛の産地で、和牛飼育のほとんどは子牛を生産する繁殖牛飼育で、生まれた子牛は7～10か月間飼育してから、年3回（4月、7月、11月）開催される高千家畜市場で競りに掛けられます。佐渡産の子牛は素質が良くておとなしく育てやすいと好評で、子牛の8～9割が佐渡島外に引き取られ、飛騨や村上といった有名産地で育てられます。

今回は子牛96頭が出場し最高価格は996,600円で農家の皆さんはほくほく顔でした。

会議の傍聴に お越しください！

市役所第1庁舎3階にお越しください。

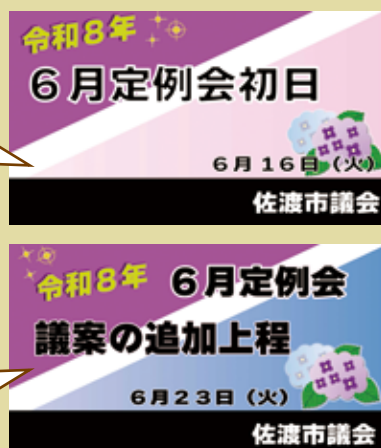
※事前申し込みは不要です。
（ただし大人数になる場合は議会事務局にご連絡ください。）

SNSで 情報発信中!!

本会議や委員会の情報のほか、議員へのひと言インタビュー、行政視察の様子などを配信しています。市民に親しまれる議会広報を目指し、議会の活動を配信していきますので、ぜひご覧ください！



本会議中継をテレビだけでなく見られるようにyoutubeで動画配信しています。ショート動画では議員への突撃インタビュー等を発信しています。



Instagram 始めました！
佐渡市議会 Instagram

佐渡市議会Facebook

佐渡市議会YouTube



一般質問の感想、議長や常任委員長へ突撃インタビューを配信しています。

委員会の開催情報など普段の議会の動きも配信しています！